

峠を越えた旅人 小さな 山の店の思い出

一つの峠を越えた旅人は

小さな山を切り開いた店に辿りついた。

そこでアルバイトをした。

山の方に向かって右側のレストスペースでは、

うどんとそばの製麺所があった。

半年右側の土産物売り場で、残りの半年は移動になってその製麺所で働いた。

寂れかけた田舎町に出来た新しく綺麗な希望の星と

いうべく店である。

経験豊富な職人さん、そして心優しい従業員の皆さん
と一緒に働き

心が透明になったような気がした。

というのも・・・・・・・・・・その手前の峠では

彼は都会の中で

煌びやかな光の中

もがいていたからだ。

これは数ある多くの山々のごく一部の話であるが。

煌びやかさの隣では必ず

心が汚れるようなす黒い渦が巻いているからだ。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。